

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月21日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1名	8名	0名	0名	9名/9名

前回の改善計画	<p>ご利用開始前の情報共有を行う。 不安を抱えるご利用者、ご家族への関わりを意識して行い、精神面へのケアが出来る関わりを持つ。</p>
前回の改善計画に対する取組結果	<p>利用開始前の情報収集を行い、基本情報にまとめ事前確認を行うよう取り組んできた。ご利用者、ご家族の状況や心境を情報に残し活用できるように気を付けてきた。情報を基に初回での関わりもスムーズに介入できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3名	6名	0名	0名	9名/9名
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0名	9名	0名	0名	9名/9名
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3名	6名	0名	0名	9名/9名
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりの為の配慮をしていますか?	3名	6名	0名	0名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ケアマネが事前に情報を用意し、ミーティング等で職員間で確認しながら共有することが出来た。ご利用間もない方に対して、表情を見ながら安心感を得られるように積極的に関わっている。また、ご家族に様子を電話で伝えるようにしている。自分の経験も交え、ポジティブな内容で会話をしよう心掛けた。</p>	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員間で情報共有を行ったが、実際に利用開始した際に不足している情報もあった。関わりには十分配慮をしたが、コロナ禍ということもあり、直接ご家族とお会いする時間が少なかったため、コミュニケーションが足りなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>介入が行いやすい様に、利用開始前の情報収集の内容を見直す。 ご家族様と会える機会が少ない為、定期的に関わりをもてるように電話、写真などを活用する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月21日
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0名	8名	1名	0名	9名/9名

前回の改善計画	生活の質を少しでも向上させるために、小さい事でも個々の「～したい」や希望、目標を知り、日々の生活に取り入れる。
前回の改善計画に対する取組結果	ご利用者へ「～したい」ことを聞き取るように努めてきた。聞き取った内容を記録に残すようにし、他職員も共有できるようにしてきた。土いじりが好きな方に畑作りを企画することも出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0名	7名	2名	0名	9名/9名
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0名	7名	2名	0名	9名/9名
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	0名	7名	2名	0名	9名/9名
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2名	6名	0名	1名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること 日常会話の中で聞かれた思いに対して、聞き取った内容は経過紙に記録するよう心掛けてきた。また、その内容について一緒に取り組むようにしてきた。取り組み方も色々な視点から方法をアプローチするように検討した。
--------	--

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること 漠然とした目標を聞いたことだけで、どうしたらゴールに向かっていけるのかを深く考えられていなかった部分がある。「～したい」と伺っていても職員主導のケアになっていたように感じる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご利用者の「～したい」を職員間で共有し、日常生活でどのような取組みを行えばよいか検討、実践を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月21日

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0名	8名	1名	0名	0名/9名

前回の改善計画
現在の状況に加え、これまでの生活をどのように送ってきたか理解できるコミュニケーションを意識して行う。 収集した情報はチームで共有できるように記録に残す。
前回の改善計画に対する取組結果
ミーティングや日々の昼礼でチームとして情報共有を行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0名	4名	5名	0名	9名/9名
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3名	6名	0名	0名	9名/9名
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2名	5名	2名	0名	9名/9名
③ 本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有していますか?	6名	3名	0名	0名	9名/9名
④ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2名	7名	0名	0名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の状態の中で体調や気持ちに少しでも変化や違和感があった場合は職員間で確認し、情報を共有することが出来た。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
自分なりにご利用者の気持ちを考えているが、職員全体に共有する場で話を出せていない。 認知症を患っている方へ過去を問う質問を行っても上手くつかめず、「以前の暮らし方」を10個以上把握することが出来ていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個々の希望や思考、背景が分かるように「暮らしの情報シート」の積極的な活用を行う。 ミーティング時に更新情報の確認を行い共有を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月21日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1名	7名	1名	0名	9名/9名

前回の改善計画	ご利用者の生活スタイルやこだわりを再確認し、職員間で共有を行いケアの水準を合わせる。地域の社会資源についての学ぶ機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組結果	初回の訪問に同行することが出来た。同行することで支援内容の確認が行えた。タブレットを活用し、同行できなくても支援内容が確認できるよう努めた。継続的な訪問などの同行が出来ていなかった部分もある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0名	7名	2名	0名	9名/9名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係がきれないように支援していますか？	0名	8名	1名	0名	9名/9名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0名	8名	1名	0名	9名/9名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1名	5名	1名	2名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること 「その人らしさ」を尊重した生活を送れるように、ご家族との関わりを持ち、職員間で得た情報を共有してきた。本人の生活スタイルや役割、家族との関係性を考慮した働きかけを行う事が出来た。
--------	---

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること 多くのご利用者の生活スタイルをしっかりと把握できるよう関わりの時間を増やせると良いと感じた。特定の地域の民生委員との関わりを持たせて頂けたが、他の民生委員の方との交流が出来なかった。日常の支援を優先し、社会資源の学びへの時間を設ける事が出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域との関わりが持てるように、定期的に圏域の民生委員と連絡を取る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月21日
5. 多機能性のある柔軟な支援	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3名	5名	1名	0名	9名/9名

前回の改善計画	日々の記録について細かな変化や情報でも記載し、職員間で共有を行う。ミーティング内で振り返りを行い、しっかりと共有できる機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組結果	日々の記録の記載にも注意し、ミーティングを通じて情報共有を行ってきた。情報共有を行う事で支援内容の見直しや検討を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支援しようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2名	5名	2名	0名	9名/9名
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4名	3名	2名	0名	9名/9名
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気付き、ミーティング等で共有する事ができていますか?	4名	4名	1名	0名	9名/9名
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3名	6名	0名	0名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の記録に気付いたことなどを記載するように心がけてきており、職員間でも共有することが出来た。ご利用者の状況に合わせて「通い」「訪問」「泊まり」のサービス提供の柔軟な切り替えを行い、支援することが出来た。地域の配食サービスなど、社会資源を活用する機会を持つことが出来た。
--------	---

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の社会資源を調べ切れておらず、自分たちの事業所で解決するように動いていた。しっかりと地域資源の把握が出来ていなかったために積極的な案内もできなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 検討時に様々な選択肢を持ち、支援に活かせるように長岡市内、ご利用者の生活圏域の社会資源について学ぶ機会を持つ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月21日

6. 連携・協働

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1名	2名	4名	2名	9名/9名

前回の改善計画	これまで行ってきた交流を継続する。 運営推進会議に出来るだけ職員も参加できるように調整し、地区の方との交流を行う。
前回の改善計画に対する取組結果	コロナ禍で関わりを持てる機会が無かったが、近隣の方への挨拶や、クリーン作戦など出来る事への取り組みに気を付けてきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	1名	1名	5名	2名	9名/9名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0名	3名	2名	4名	9名/9名
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0名	3名	2名	4名	9名/9名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0名	2名	4名	3名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること 状態に応じ、医療機関、福祉用具、訪問看護の担当者との情報共有し、専門的なご意見を確認した上で支援を行う事が出来た。開催の機会が少ない期間だったが地域のクリーン作戦には参加することが出来た。
--------	--

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること 行事の開催が難しい時期であり、直接的な関わりが出来なかった。回覧板などの周知を行う方法も積極的な活用が出来ず、サポートセンターのアピールの機会を設ける事が出来なかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 定期的な看板の内容変更を行い、サポートセンターとしての情報発信を行い、センターの周知に努める。 町内の行事等に参加出来るように日常の挨拶をしっかりと行い関係性の継続を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月21日

7. 運営

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1名	4名	3名	1名	9名/9名

前回の改善計画	ミーティング内に自事業所の改善点を言える機会を作る。 サポートセンター三和を周知できる方法を職員間で検討し実践に移す。
前回の改善計画に対する取組結果	ミーティング時に環境面など改善できる部分を検討することが出来た。 サポートセンター三和を周知するために看板の作成や畑作りなどを企画し実践できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所の在り方について、職員として意見を言うことができていますか?	1名	4名	4名	0名	9名/9名
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3名	5名	1名	0名	9名/9名
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0名	9名	0名	0名	9名/9名
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と共同した取り組みを行っていますか?	0名	5名	1名	3名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること 頂戴したご意見や苦情に対して、迅速に職員間で共有し改善策を検討・実践することが出来た。
--------	---

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること 職員間でも地域への考えや意見を言える場面が少なかった。自分自身のあと一歩を踏み出せなかった。行事が開催できなかったため、地域との積極的な関わりが出来なかった。地域の特性の把握も出来ていなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) サポートセンター三和についての情報発信を継続して行う。畑作業など、地域の方と交流できる場も設けていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年9月21日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	1名	3名	2名	3名	9名/9名

前回の改善計画	年間の目標以外にも自分自身のスキルアップを1つ掲げ、学びを行う。
前回の改善計画に対する取組結果	業務時間内の中で少しでも個々の中で学びたいテーマに取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	1名	5名	2名	1名	9名/9名
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	1名	2名	2名	4名	9名/9名
③ 地域連絡会に参加していますか？	1名	2名	2名	4名	9名/9名
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか？	2名	6名	1名	0名	9名/9名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること 学びたいテキストを購入し、時間を見て学びを行う事が出来た。 毎月ミーティング時に研修の機会を持ち、ご利用者へ還元できるよう職員の基礎知識向上につなげている。 日々の支援の中でヒヤリハットを記載するようにし、リスクマネジメントへの意識を心掛け取り組んでき
--------	--

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること 外部の研修への参加が難しかった。 オンライン研修の機会も活用できればよかった。 リスクマネジメントについて定期的な学びの場を持ち、意識付けをしっかりと行えると良かった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ禍で研修の機会が少ない為、スキルアップにつながる取組みを各自決めて取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月21日

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3名	6名	0名	0名	9名/9名

前回の改善計画
プライバシーに配慮した上で、言葉の選択や語気の強さを意識し、気持ちに寄り添った関わりを持つ。
前回の改善計画に対する取組結果
関わる際に声のトーンや言葉の選択など注意しながら実践することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束していない	9名	0名	0名	0名	9名/9名
② 虐待は行われていない	9名	0名	0名	0名	9名/9名
③ プライバシーが守られている	4名	5名	0名	0名	9名/9名
③ 必要な方に成年後見制度を活用している	5名	4名	0名	0名	9名/9名
④ 適正な個人情報の管理ができている	4名	5名	0名	0名	9名/9名

できている点 200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
どのような状況でも人に聞かれたくない話もあるので、1対1の機会を作りプライバシーへの配慮を心掛けた。
ご利用者の安全を優先した上で、自由な動作を促せるような支援を心掛け、物理的・心理的な拘束にならない支援が提供できるよう心掛けた。後見人の方と関わりを持ち、後見人への学びにつなぐことが出

できていない点 200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
できる限り廊下などのご利用者から離れた場所で申し送りを行っているが、緊急的な情報共有の場面など、ご利用者の前で業務内容を伝達してしまう場面もあったので配慮が必要。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ご利用者への声掛け、関わり方について職員同士で確認し、互いに注意してより良い関わりを目指す。